


 歴史・文化部門「岩樋公園」

出雲市の中心部を東西に流れる高瀬川は、江戸時代の初期に開削され、灌漑用水路や舟運交通路として重要な役割を果たしてきた。

「岩樋公園」は、高瀬川沿線整備事業の一環として、斐伊川からの取水口である岩樋付近を郷土の歴史を顧みる場、市民の憩いの場として整備を図ったものである。

公園の周辺は丘陵地で広葉樹が多いので、これらを保全するとともに、散策路を整備して自然観察などが行えるようにしている。北東面の散策路にはツツジの植栽を施しており、斐伊川の流れが一望できる頂上広場には展示を行うことのできる休憩所を設け、学習活動の場とした。また、駐車場の周囲を芝広場にして市民に憩いの場を提供している。



所在地	島根県出雲市大津町
諸元	面積：3,500m ²
関係する施設など	芝生広場、頂上広場、休憩所、水車、ベンチ、橋梁、駐車場
材料	御影タイル、木材、アスファルト舗装、植栽ほか